

原発やめようニュース

反原発自治体議員・市民連盟

NO. 41 2022年4月

反原発自治体議員・市民連盟

共同代表 佐藤英行（岩内町議会議員）
福士敬子（元東京都議会議員）
武笠紀子（元松戸市議会議員）
野口英一郎（鹿児島市議会議員）

〒168-0072
東京都杉並区高井戸東3-36-14-301
TEL/FAX 03-5936-0311

老朽原発の再稼働を止めるために さらに今年も力を合わせましょう 4月24日 議員・市民連盟の総会にご参加ください

第12回総会を、4月24日たんぼぼ舎を会場に、オンラインで開催します。

記念講演を関礼子立教大学教授にお願いしました。関さんは、2011年から福島被害自治体と住民を何度も訪れ、その状況を調査されています。菅野清一川俣町議をして「自分よりも福

島を良く知っている」と言わしめる方です。

福島を忘れない！シンポジウムと現地視察が2年も開催できない中で、関さんから福島の現状を詳しくご報告いただき、私たちの活動に活かしていきたいと思います。全国からのご参加をお待ちしています。

反原発自治体議員市民連盟 第12回総会・特別講演 オンライン開催

日時：4月24日(日) 14時～15時半
13時30分 受付

会費：参加無料

これを機に会費の納入をお願いします

I部 総会 14時～14時30分

- ◎ 議案 2020年度活動報告・決算報告
- ◎ 議案 2021年度活動方針・予算
- ◎ 原発立地からの報告
 - ・泊原発、高浜・美浜原発、川内原発、女川原発、島根原発等

II部 記念講演 14時30分～15時30分

【11年、福島と避難住民を訪ねて】

関礼子 立教大学教授

11年、福島と避難住民を訪ねて



関礼子 立教大学教授

1966年、北海道生まれ。
現在、立教大学教授
環境社会学・地域社会論

新潟水俣病を中心にした公害問題を研究テーマのひとつにし、同じ公害問題として福島原発事故の被害の調査に踏み出す。2011年5月から調査を開始。避難元では檜葉町、浪江町津島地区、川俣町山木屋地区を重点的に調査し、避難先では佐賀県鳥栖市、沖縄県石垣市、福島県檜枝岐村、群馬県片品村、新潟県に避難した方々の状況を聞き取り調査。

◎オンライン申込先 メール：hangen-jgs@googlegroups.com

※件名に「オンライン希望」と記し、氏名・住所・メールアドレスをお願いします

090-5497-4222・fax 03-5936-0311

東海第二原発・島根原発めぐる 請願報告

東海村議会は2月1日、原子力問題調査特別委員会で「避難計画策定急ぐ請願」のみを審議し採決を強行、3月議会で再稼働推進請願を採択して村長の再稼働決定をねらいました。これに対抗する市民団体の再稼働に反対する請願提出に呼応し、2月18日、全国自治体議員232人の連名で再稼働に反対する請願を提出しました。玉造順一茨城県議を請願代表者に、紹介議員には大名美恵子議員、恵利いつ議員、阿部功志議員の3名が応じてくださいました。

一方島根原発2号機をめぐっては、上定昭仁松江市長が2月15日、市議会全員協議会で再稼働に同意する意向を表明。松江市議会は臨時議会を招集し、再稼働の賛否を問う住民投票条例案を否決しました。再稼働の是非が島根県知事に委ねられました。2月25日を請願提出期限とする島根県議会に対し、全国自治体議員237名の連名で再稼働に反対する請願を提出。請願代表を高木隆太高槻市議と市民代表の芦原康江元松江市議にお願いし、紹介議員を立憲の白石恵子議員、角智子議員、共産の尾村利成議員、大國陽介議員の4名が引き受けてくださいました。

4/19 東海村議会特別委員会に注目を

3月14日の東海村議会原子力問題調査特別委員会は、地元市民団体が出した「避難計画は慎重に作り住民の合意を求める」請願を審議し、阿部委員や大名委員の筋の通った意見を無視して強引に不採択にしました。

さらに17日にも特別委員会を開き、再稼働推進請願と反対請願の審査を急ごうとしましたが、阿部委員らの要求により、4月19日13時半に変更。当日は請願代表の玉造県議とけば杉並区議が趣旨説明を行います。東海第二再稼働の2年延期を好機に、原電と再稼働推進派を追い詰める質疑を準備します。

神恵内村長選で反対派候補が奮闘

2月に行われた神恵内村長選は、核のごみ受け入れに反対し立候補した瀬尾英幸氏が48票、現職高橋昌幸氏が559票の結果となりました。

瀬尾氏は、「“よそ者” “高齢” “無名” という悪条件が重なる中、支持してくれた48人に感謝したい。得票は少なかったが『核のごみ』に対する国の施策や村の姿勢に異議を申し立てるといった目的は果たすことが出来た」と語りました。隣の泊村から立候補した瀬尾氏には、村の圧力で選挙事務所さえも借りられない不自由な選挙でしたが、一石を投じる重要な機会になりました。

島根県議会は継続審査 5月に持ち越し

全国自治体議員連名の請願が、3月14日県議会の特別委員会にかかり継続審査とされました。芦原さんは5月の定例会で審議するのではと予測しています。現在、周辺市も含めて再稼働を了解する意向に傾いていますが、自治体の回答が出そろい、県議会で請願に対する意思表示がされれば、5月定例会で県知事が判断するというものです。7月の参議院選挙前に最終判断を出してしまいたいとの圧力が働いているように思えます。1年先に予定する稼働に、戦争で明らかになった原発の危険性や福島原発事故の原因解析で追及を強めます。

5月29日老朽原発廃炉大集会in大阪

現在停止中の美浜3号機、高浜1、2号機が、特重施設の完成後に再稼働されたとしても来年末には停止に追い込まれる可能性は大です。それは関電が「使用済み核燃料の県外中間貯蔵地を来年末までに探せなければ、老朽原発を停止する」と明言しているためです。

5月29日(日)に、「原発のない明日を・老朽原発このまま廃炉！大集会 in おおさか」を開催します。この集会に向け、各地でリレーデモや、一人でもできるデモ、リレー集会など、創意工夫を凝らした行動が準備されています。5月は全国から大阪に集まりましょう。